

生活創造空間

にし
NISHI

～アンラシネを目指します～

第 14 号 2013 年 1 月 10 日発行



2012.12.8

西区地域自立支援協議会が一步前に進んだ日…

地域活動ホームガッツ・ビーと西 阿部 浩之

2012.12.8 西区地域自立支援協議会シンポジウム『一緒に夢をかなえよう』が西区福祉活動拠点「フクシア」にて行われました。参加者は 65 名。西区内の方はもちろん、西区外の方も数名参加されました。

内容は、西区地域自立支援協議会・活動紹介DVDの上映、活動報告（個別支援会議について）、そして西区が誇る 4 人の論客とその個性豊かな 4 人をまとめるコーディネーターの計 5 人によるシンポジウムを行いました。

今回はシンポジウムに参加いただいたコーディネーターと 4 人のシンポジストの方々にシンポジウムを終えての感想等をいただきました。

私は西区自立支援協議会がまだ組織化されていない時期に、いっしょに活動させていただいたご縁で、今回のシンポジウムに参加させていただきました。初期を知っているものの 1 人としては、「ああ、

よくぞこんな立派なシンポジウムを開催するまでになった。」という保護者のような目線で見えてしまいます。一方でかつて参加していた組織の成長を、自身と重ね、改めて自分の至らなさを痛感し、置いてきぼりをくったような寂しさも若干あります。今日、地域福祉の実践で、1 つの機関だけで完結するようなケースはほとんどないと思います。そのような状況では西区自立支援協議会のような連携、協働をシステム化し、根付かせていくことの取り組みがとても大切でしょう。協議会組織運営、地域の潜在的な問題、様々な課題があるとは思いますが、メンバー皆様の熱意で、よい方向に導かれることと信じております。今回は参加させていただき、誠にありがとうございました。

（川崎市 御幸日中活動センター（生活介護） 施設長 地域活動支援センターつばさ 所長 西岡秀樹）

先日は自立支援協議会のシンポジウム、お疲れさまでした。「夢を語る」と「現実の仕事や活動」への思いや反映はなかなかうまく表現することができませんでした。

世の中には他にも悲しいかな様々な差別や偏見がはびこっている中でなぜ「ホロコースト」なのか？そこにこだわるのはなぜなのか？そこでしか表現できないものは何なのか？唯一言えるのはすべてはそこに居た「人」が必要な人と不必要な人の区別を、善人と悪人の区別を、生きていく人と死んでいく人の区別をしたこと。善悪の判断は人の奥底ではどちらも平等に指し示す。選んだことにより何が起こりうるかを予想できてもそれを選ぶのは自由であった時代が引き起こす悲劇を見過ごしてはならない。人が居る以上は起こりうるゼロでは無い可能性を見逃してはならない。

（西区社会福祉協議会 局長 山下孝夫）

西区役所障害担当係長の高島と申します。西区役所に着任して、約 1 年 9 か月になります。シンポジウムでは行政職員として障害福祉について思うところをお話しました。

横浜市職員として働き始めて 17 年。この 17 年の中で、障害者福祉施策は措置制度から支援費制度へ、そして障害者自立支援法があり、障害者総合支援法へ・・・と、毎年のように制度の変更が行われています。また、横浜市でも在宅障害者手当の廃止、将来にわたるあんしん施策の推進などの変化がありました。

このような変化を経験して、いろいろ思うところもあります。その中のひとつは、制度がどのように変化しようとも、結局のところ、暮らしやすい街づくりのためには、行政の私たちが頑張ることはもちろんですが、市民の皆様とご一緒に作りあげていくものである・・・ということです。ぜひ今後とも、よろしくお願い申し上げます。

（西区こども家庭障害支援課 係長 高島友子）

先日は西区自立支援協議会のシンポジウムにおいて私自身の「夢」の話について貴重な時間をいただき、誠にありがとうございました。再度誌上にて感謝の言葉を述べさせていただきます。さて、西区自立支援協議会立ち上げの前段階から個別支援会議の原点となる事例検討会に参加させていただき、今回のシンポジウムにて、生活支援センター西の片岡さんより個別支援会議の実践報告という形で今までの積み重ねを発表していただきました。様々な関係機関のみなさんの協力によって運営されてきた個別支援会議の一定の成果がこのような形で関係機関のみなさんへ報告できることができ、参加者の一員としてとてもうれしく思っております。

今後も多くの関係機関に参加していただき、ますます個別支援会議、さらには西区地域自立支援協議会が発展してくことを楽しみにしております。

（横浜市藤棚地域ケアプラザ 地域包括支援センター社会福祉士 大塚洋之）

シンポジウムが終わっての感想は、実際に頭の中でゴチャゴチャ描いて緊張しながら話している自分と、会場の空気の波長を合わせることが大変だ、どうしようと焦り、気がつけば終わってしまった！という印象です(猛省)。西岡さん本当にありがとうございました。

私には兄がいます。2 年前色々な事情で高次脳機能障がい者になり現在も入院中です。世の中の社会資源の厳しい現実を実感し、兄の今後の生活に真剣に悩んでいたある時、ガッツの阿部さんが知り合いの相談員さんを紹介して下さいました。日々の現場での連携や自立支援協議会の活動の中で、さりげない真心の思いやりを感じ、頑張ろうと思いました。それを「寄り添う」と言うのではないのでしょうか。きちんと寄り添われた人は、今度は自分自身が誰かにきちんと寄り添いたくなるものです。そのひとつ一つの真心の生きるための連携を皆と分かち合えるよう西区の中で具体的なかたちにするのが私の夢です。今後ともよろしくお願い致します。

（無限夢工房 所長 樋野大祿）



それぞれの方々の貴重な感想、ありがとうございました。

西区地域自立支援協議会はそれぞれの業務を増やすためにあるのではなく、皆の気持ちを軽くするために存在しているものです。一人でも多くの方が「参加してみよう！」と思えるような協議会をみんなの力で創っていきたい！

時間が長かったとか夢というテーマが大きすぎた等、色々なご意見もいただきましたが、今回のシンポジウムが更に上を目指すための第一歩ととらえ、これらのご意見を糧に前に進んでいきます。第2回シンポジウムも乞うご期待！！

「自立生活アシスタント」事業始まりました！

ついに、ガッツビーと西にも自立生活アシスタント（通称：自アシ）事業が始まりました。障がいがある一人暮らしの方、これから一人暮らしをしたい方、高齢等により家族の支援を受けることが困難な方の相談員です。

支援方法は面談はもちろんのこと、ご自宅に訪問したり、一緒に外出したり……。障がいがあって地域で暮らしているとわからないこと、困ることがたくさんあります。そんなときに相談できる職員です。一緒に考えて、一緒に悩み、ご自身で解決してもらえるように支援します。

担当職員は…左の写真を見て下さい！

原則として、知的障がいのある西区内にお住まいの方が対象になります。利用できるかな？と少しでも思われた方はご連絡ください。また、関係機関の方で、紹介したい人がいる場合は早めにご連絡ください。どのような介入がいいか、ということから相談させて下さい。



エヌ・クラブ 癒しのマッサージの巻！

あんまマッサージ指圧 リフレッシュルーム『スリープ』の野望！についてご紹介させていただきます。

リフレッシュルーム『スリープ』は、祝祭日を除く火曜日から土曜日の9:30～16:00まで、生活・創造・空間にしの1Fシャラカフェ内の一室で営業しております。

現在は、この場所に来られたお客様に、マッサージを提供していますが、『スリープ』には野望があります。その“野望”とは、『皆様の所へ、癒しのマッサージを届けたい！』というものです。と言っても、ご自宅への出張は、ハードルが高いので、せめて公共の施設に出向いて、そこを利用されている人に“癒しのマッサージ”が届けられたらいいな！などと思いを馳せています。

『スリープ』はまだまだ知名度は低いですが、視覚障がいをお持ちの方が、マッサージという武器を手に【地域・社会】に出て、いつの日にか地域で知られる『スリープ』になる事を待ち望んでいます。そして、障がいを持った方が、社会のいたる所で活躍する日を夢見ている今日この頃です。今後とも、宜しくお願い致します。

エヌ・クラブ 安達 祐二



♪ランチコンサートだより♪ おもちゃのはこ です。

日差したっぷりの大きなガラス窓、音の良く響く高い吹抜けのある天井、そして暖かな暖炉とグランドピアノのあるロビーをお借りして毎月第4木曜日にコンサートをさせていただいています。

歌、ヴァイオリン、ピアノなどでクラシック音楽を中心に演奏しています。毎月こちらへ伺うことをとても楽しみにしているのです。その理由の一つ、ご来場下さるお客様をご紹介しますと思います。

★いつも一番前の席で何やらメモを取りながら、まっすぐこちらを見つめ聴いて下さるあなた

《実は私、今日もあなたのために弾くわ！と心の中で思っています》

★コンサートは聴いてくれないけれど、始まる前に必ず顔を出して笑って声をかけてくれるあなた

《偶然、電車の中で出会って、話しかけてくれて、私は本当に嬉しかったの》

★毎回、楽譜のコピーをリクエストしてくれるあなた

《あまりにご存じの曲が多いのでびっくり!!歌がとてもお上手!!》

★いつのまにか、キラキラ星を覚えていつも弾いてくれるあなた

《ショパンのリクエスト曲、冒頭を弾いて教えてくれましたね！その絶対音感の素晴らしさに感動》

★一生懸命 鈴やマラカスを握って音楽に合わせて鳴らしてくれるあなた

《喜びを全身で表わして下さる姿にこちらがパワーをいただきました》

コンサート終了後、皆さんの表情が和らいで見えるのは私の思い過ごしでしょうか…。もし本当ならば、それは「音楽の力」なのです。

『生活創造空間にし』 皆さんがいつまでも生き生きと輝ける場所でありますように。

おもちゃのはこ 齋藤 香

☆ランチコンサートの予定はホームページまたは館内のポスターをご覧ください☆

腹黒日記～黒々なるまに～

☆世知辛い(せちがらい)☆

国民の大半が、支持したい政党がないと言って、投票用紙を無駄にする。

猫カフェに癒しを求めて多くの中年男性がたむろする。

いきなり半蔵門線が車両故障で足止めされる。

ゼリーを食べてしまうとかめはもらえない。

本格インドカレー屋はいつもヒルナンデスというポケには時代がついて来なかった。

こんな世の中でも新年がやって来る。私の仕事も年の瀬で区切れるものではないのに、「今年中に緊張感の高い仕事はあと1つだ。」等と言って、ひとまず切り替えようとする。最後にもう一言、世の中の腹黒ファンは優しい。

コアになればなるほど。今日もこの町のどこかでそっと失笑してくれていることだろう。(腹グロール)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市内西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)